

会議名	第1回 八王子市動物愛護推進協議会	
日時	平成27年7月7日(火) 午後2時00分~4時00分	
場所	八王子市保健所 別館2階会議室	
出席者氏名	委員	飯田公司、河合博明(座長)、小泉正明、小林結花、渋谷寛、塚本富男、 対馬美香子、富永律子、丸山総一(副座長)(50音順)
	説明者	伊東健一主査
	事務局	細川えみ子保健所長、山野井寛之生活衛生課長、伊東健一生活衛生課主査、 西尾紗智生活衛生課主任、富山善登生活衛生課主事
欠席者氏名	「なし」	
議題	① 協議事項について ② 八王子市の現状について ③ 今後の運営方法について	
公開・非公開の別	「一部非公開」	
傍聴人の数	「なし」	
配付資料名	1. 八王子市動物の愛護及び管理に関する条例 2. 八王子市動物の愛護及び管理に関する条例施行規則 3. 八王子市動物愛護推進協議会設置要綱 4. 八王子市動物愛護推進員設置要綱 5. 八王子市動物愛護推進協議会委員名簿 6. 八王子市動物愛護推進員名簿 7. 同意書 8. 統計資料(過去5年間の基礎データ) 9. 今後の予定 10. 八王子市付属機関及び懇談会等に関する指針 11. 連携体制について 12. 八王子市動物愛護推進協議会開催状況について	

<p>会議の内容 (要旨)</p>	<p>座長、副座長が決定するまで、山野井生活衛生課長が進行</p> <p>【細川保健所長】挨拶</p> <p>【細川保健所長】辞令書交付</p> <p>【事務局：山野井】事務局の紹介</p> <p>【すべての委員】自己紹介</p> <p>【事務局：伊東】配付資料の確認、同意書の説明</p> <p>【事務局：山野井】</p> <p>○座長、副座長の選任 座長 河合委員、副座長 丸山委員に決定</p> <p>【河合座長】</p> <p>○公開、非公開について 一部非公開とすることに決定 (「推進員に関すること」については個人情報の取り扱いがあるため非公開、その他の議題については公開)</p> <p>○第1回協議会の議事録に署名する委員は飯田委員とすることに決定</p> <p>【河合座長】</p> <p>○協議事項について 協議会での協議内容は「推進員の委嘱の推進と活動支援」、「動物衛生業務の今後のあり方について」に決定</p> <p>【事務局：伊東】</p> <p>○推進委員名簿、推進員設置要綱、統計資料、今後の予定に基づき説明</p> <p>○課題は、①推進員の人数のあり方②殺処分数のさらなる減少③動物由来感染症の普及啓発④災害時のペット対応⑤動物愛護推進に係る教育活動の充実⑥地域猫対策の普及</p> <p>【対馬委員】</p> <p>動物愛護推進員について、現在5名で活動しているが、全員八王子市在住の東京都動物愛護推進員を兼ねており、八王子独自の委嘱はない状況です。</p> <p>推進員5人の連絡会の中で話題になるのは、5人という数字が多いのか少ないのか分からないが、ただ人数を増やせば良いというのではなく、推進員の質が重要であるということです。</p>
-----------------------	--

	<p>現在、東京都の愛護推進員は300人以上いますが、その中にはあまり活動をされていない方もいるときいています。</p> <p>【塚本委員】</p> <p>5人で活動する現状の中で、個々の負担はどうか。</p> <p>【対馬委員】</p> <p>愛護推進員は熱意を持つ人がやっており、各々自分のできる範囲での活動をしています。場合によっては本業のほうが忙しくて活動に手が回らないこともあります。</p> <p>【丸山副座長】</p> <p>愛護推進員の名簿にある「獣医」の項目がありますが、資格名の「獣医師」に修正して頂きたいと思います。「いのちの教育」の効果はどうでしたか。</p> <p>【事務局：伊東】</p> <p>学校の先生に対しては実施後に、児童に対しては実施前と実施後にアンケートを取りました。授業内容は動物を家畜、ペット、野生動物に分類して行いますが、例えば、「動物に対して何かできることはありますか」という問いに対して、実施前には「ない」という回答が多かったが、実施後には「なでてあげる」等、できることを考えて回答してくれた児童が多かったことから効果はあったと思います。</p> <p>【丸山副座長】</p> <p>そのような効果が出ているのであれば、「いのちの教育」は継続して行ってほしい。</p> <p>【河合座長】</p> <p>「いのちの教育」を行うにあたり、施設管理課や教育委員会等との関わりはありますか。</p> <p>【事務局：伊東】</p> <p>実施前に学校教育部の指導主事に相談し、指導課を通して各小学校に募集をかけています。その後、実施校を決めるまで学校教育部と連携しているため、指導課との調整が多いです。</p> <p>【事務局：山野井】</p> <p>学校飼育動物だと管轄は施設管理課となります。</p> <p>「いのちの教育」は3回のプログラム構成となっており、プログラムを通して、生徒たちに動物との関わり合いを考えてもらうというところで効果を実感しています。</p>
--	---

【対馬委員】

ここで「いのちの教育」の講師をやらせていただいている関係から、簡単な説明をいたします。まず、生きている動物を連れてくることはせず、代わりに張り子の動物を使用します。児童たちが動物から何をもらっているのか、何をしてあげられるのかという意見を3回の授業で引き出していきます。

講師側にも若干のテクニックが必要となり、現状2人しか講師がいないため毎年1校選んで実施しています。実施プログラムから評価まで、一連の流れがプログラム化されています。心音計を使い、自分や他人の心臓の音を聞くことで自分たちの「生きている」ということを実感してもらうこともします。

【事務局：山野井】

プログラムの中で、心音計を使うところは特に印象的でした。

【渋谷委員】

課題の殺処分についてですが、統計資料にある殺処分の区分の、その他の内訳を教えてください。

【事務局：伊東】

平成25年にうさぎが2羽、平成26年ににわとりが2羽負傷動物で収容され、そのうち平成25年にうさぎが1羽、平成26年度ににわとりが2羽殺処分されています。条例で、負傷動物の収容対象となっている動物は犬、猫のほかに、にわとり、あひる、うさぎがあります。

【渋谷委員】

殺処分の運動をしている人から、行政は何を根拠にして殺処分しているのかと聞かれることがあります。法第35条については犬、猫の根拠であり、他の動物に関しては根拠がないように思えます。

【事務局：伊東】

八王子市の条例第14条に公示等について規定があり、その中で所有者が当該動物を引き取らない場合は処分することができるという規定を根拠としています。

【事務局：細川】

何を根拠に殺処分するのかという人たちは、殺処分をするなということが言いたいのかと思いますが、ならばどうしたら良いのでしょうか。ずっと飼えということなのでしょうか。

【渋谷委員】

そうだと思います。ドイツの例なども挙げ、ずっと飼ってくれということだと思います。

【河合座長】

殺処分数等の数字は、他の自治体などと比較すると良いものなのではないでしょうか。

【事務局：伊東】

一概に比べるのは難しいですが、都内で言えば町田市は収容数がとても少ないということは聞いています。

【事務局：山野井】

厚生労働省のデータを見ると、長野市が中核市の中では収容数等が少ないです。

昨年長野市には視察に行き、管理施設も見学させていただきましたが、スペースはあまり広くなく、特に猫を収容する場所はあまり多くなかったように感じました。多くない理由については、ボランティアとの連携が強く、譲渡数も多いので、処分数が少ないのではないかと感じました。ただ、譲渡という出口が行き詰った時に、収容自体を少なくするような取り組みが今後必要になると話されていました。

【小林委員】

殺処分数に関しては、国立市が2年前に0を達成しています。市の広さも違い、取り組み方も違うと思いますが。

昨年、はちねこでは230頭の譲渡が成立しており、新たな譲渡先を見つけようとする努力、場所を行政からも提供してくれれば処分数は減ると思います。

【対馬委員】

飼いきれない数の動物に関しては、そもそも産ませない、増やさないということが大事です。市内では犬の登録数が30,000頭前後で推移していることから、飼うことができる人についてはもうすでに飼っていて、犬の数、猫の数はもうすでに飽和状態ではないかと思っています。

また、データから八王子では迷子になった犬の返還率が非常に高いです。マイクロチップや鑑札を付けてくれているだけでほとんど家に戻ることができます。増やさないこと、衝動買いをして結局飼えなくなるということがないようにすることが必要です。

猫に関しては避妊、去勢手術をすることが大事です。譲渡した先で飼いきれない子猫が生まれてしまっただけでは本末転倒ですから、数字にこだわらず、適正に飼える方に譲渡することが重要です。

【小林委員】

譲渡をする際には、例えばワクチンや手術が済んだかの確認のため証明を送ってもらったりし、譲渡後のみ届出をしていただいています。

野良猫よりも、不適正な飼い方をされている飼い猫のほうが、問題が大きいように感じます。栄養状態がいい飼い猫は野良猫よりも繁殖力が強く、勝手に捕まえて手術をすることもできないため大変です。

【渋谷委員】

猫に対する避妊去勢手術の助成金について質問です。手術の実費のどの程度を助成金で補うことができますか。

【事務局：伊東】

動物病院でかかる費用については、自由診療なので病院によって異なります。全額を助成金で賄うのは難しいのが実情です。

【小林委員】

診察代やワクチンの費用等も含めるとさらに負担は大きくなります。

【飯田委員】

現場（ボランティア）には大きな金銭的負担となっています。個々の負担も大きくなりやすく、行政に対しての不満も出やすいです。多くの人から、ボランティアはただ猫が好きだから活動をしていると思われがちの部分もあります。

【小林委員】

はちねこのホームページに医療費がいくらかかったかということについては掲載しています。野良猫に対してだけでも年間 400～500 万円の医療費がかかっています。

【塚本委員】

私はみなみ野地区の自治会に入っておりますが、つどいの森によく猫を置いて行かれることがありました。

以前小林委員に相談させて頂いたこともありました。町会費から避妊去勢手術費用を出そうとしたこともありましたが、手術をすることに対して虐待だ、という人もいれば、かわいそうな猫に対して餌を与えて何がわるい、という人もいました。猫に対する考え方を広めるために PR 等をより積極的にしていく必要性を感じております。

【小泉委員】

自分自身、犬の糞の放置に以前から悩まされています。私は猫を家の中で飼うということも知りませんでした。犬の鳴き声や猫の糞については町会でもよく問題として取り上げられます。私自身は犬猫に対して「あの子」という表現に抵抗があり、動物に対しては様々な考え方を持つ人がいるかなと思います。これらのことに対して、感情を抜いて考えることはできません。

【事務局：細川】

動物に対する位置付けが以前と変わってきています。昔ながらの考えを持つ人は猫を放し飼いにするし、手術も嫌がりますが、近所の迷惑になってしまうのも困ります。

様々な考えを持つ人たちの中で、どこかで折り合いをつけることが重要であると思いますが、広報活動や協働を進めていく中で、色々な話を聞かせていただけたらと思います。

【塚本委員】

町会では猫の問題が一番多いです。愛護と虐待の線引きも難しい部分があり、昔は動物というのは「物」扱いが一般的でした。現状での考え方の平均値を取り入れて、一歩ずつ進めていくしかないと感じます。

【河合座長】

それでは、最後の議事となります、今後の協議会の運営方法について協議したいと思います。

先ほどの現状確認において、活発なご意見があり、協議会の中でも八王子市の課題が共有できたと思います。

事務局からの説明があった通り、予定としては今回を含めて計4回の協議会が予定されており、おおよそ、半年に1回のペースとなることから、その回ごとにテーマを決めて、その回である程度結論付ける方法が良いかと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

了承

【河合座長】

それでは次回以降のテーマについて、事務局から何か案はありますか。

	<p>【事務局：伊東】</p> <p>第2回前半：殺処分のさらなる減少について 動物由来感染症に係る普及啓発</p> <p>第2回後半：推進員の人数について</p> <p>第3回前半：災害時のペット対策、動物愛護推進に係る教育活動</p> <p>第3回後半：推進員の役割と位置付け</p> <p>第4回前半：動物飼養管理施設について</p> <p>第4回後半：保健所の人的、財政的支援及び連携の在り方</p> <p>【対馬委員】</p> <p>この協議会で取り扱う「動物」の範囲は「ペット動物」に限りますか。</p> <p>【事務局：細川】</p> <p>野生動物、産業動物に関しては、含めると範囲が広くなりすぎてしまうため、対象外とします。</p> <p>【小泉委員】</p> <p>カラス等は議論の対象になりますか。</p> <p>【事務局：細川】</p> <p>カラスは野生動物のため含まれないのではないかと思います。</p> <p>もし、話をするのであれば、次期にでも野生動物について議論をしても良いかと思います。</p> <p>【河合座長】</p> <p>次回の協議会は平成 28 年 1 月に開催いたします。開催通知に関しては私の名前で出させていただきます、概ね 1 か月前に届くよう準備いたします。</p> <p>それで本協議会を閉会します。</p>
会議録署名人	平成 年 月 日 署名